

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課 題	課題への対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでに行った具体的な取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
・ 大規模な高層集合住宅が集中する地域や木造家屋が密集する地域、商業施設が集積する地域など区内各地域における防犯、防災に関する課題は多様である。 ・ 駅周辺の放置自転車や商店街の看板、歩道など、歩行者の安全を損なっている。	【安全・安心なまちづくりの推進】 ・ 区民一人ひとりが防災意識を高め、災害発生と同時に自主的な防災活動や避難活動を行える体制を構築する必要がある。 ・ より安全・安心なまちづくりを行うため、行政・地域・警察などの連携を強化し、一体となった防犯活動を展開していく必要がある。	【戦略1-1】 【区防災対策事業】 防災訓練を実施することで、行政・区民・企業の相互協力体制を確立する。また、防災技術の習得の機会を提供し、防災意識の啓発を行うことで、区民の防災意識や災害対応力の向上を図る。 【達成目標】 防災訓練や研修会等を通じ、区民の防災意識・災害対応力の向上と地域防災リーダーの増員・育成及び区民と警察・消防等の行政機関との相互協力体制の確立を目指す。	【取組1-1】 ・ 区防災訓練の実施 ・ 地域防災リーダーの育成 ・ 地域防災活動の支援 ・ 大規模災害時における協力事業所の募集 ・ 防災に関する出前講座の開催 【業績目標】 ・ 地域防災リーダー研修会 年2回実施 ・ 各地域での防災訓練 18回実施 ・ 出前講座 6回実施	区防災訓練の実施 (10月17日 実施予定) 地域防災リーダーの育成 (5月)新任地域防災リーダー研修会の開催 参加人数 17人 (6月)阿倍野防災センター研修会の開催 参加人数 20人 地域防災活動の支援 (5月)高倉地域防災訓練 訓練参加人数 53人 (6月)中野地域防災訓練 訓練参加人数 30人 (6月)内代地域防災訓練 訓練参加人数 49人 大規模災害時における協力事業所の募集 (2月)協力事業所登録申込開始 (4月)制度開始 登録事業所数 21社(9月末現在) 防災に関する出前講座の開催 (6月)桜宮地域女性会からの依頼 参加人数 26人	①	B	・ 地域防災リーダー研修会の未受講者が必要なスキルを身につけるフォローアップが必要である。 ・ 地域の防災訓練については、地域住民に防災意識が一層浸透し、自主的に防災活動や避難活動が行えるよう、支援を行っていく必要がある。	イ
		【戦略1-2】 【地域防災力向上のための小学校区別ワークショップ】 区民が主体の防災ワークショップを実施し、区と地域が協働で取り組むべき今後の課題を明確にし、その解決を図る。 【達成目標】	【取組1-2】 ・ 小学校区単位のワークショップ (1校区3回)の実施	小学校区単位のワークショップ (7月)第1回 参加人数 淀川小学校区 36人 内代小学校区 38人 都島小学校区 49人 (9月)第2回 参加人数 淀川小学校区 35人 内代小学校区 49人 都島小学校区 51人	①	B	ワークショップを通じて抽出した課題の解決に向けた取組が必要である。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都島区）

中間振り返り 様式2

目標像				使命				
<ul style="list-style-type: none"> ・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現 				<ul style="list-style-type: none"> ・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進 				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課題	課題への対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		平成19年から21年までの3カ年計画で実施しており、平成21年度は残りの3校区においてワークショップを実施する。	【業績目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ(1校区3回)計9回実施 					
		【戦略1-3】 【地域安全対策プロジェクト】 区役所を拠点とした地域安全対策の体制を強化し、子どもに関わる地域の安全巡視・遊具等の点検を行い、犯罪・遊具等の事故等を未然防止・抑制を図り、さらには地域の環境改善を目指す。 【区の安全なまちづくり事業】 各小学校地域での地域自主パトロール(子ども見守り隊)活動支援事業により、街頭犯罪をはじめとする多岐にわたる犯罪を防止・抑止する。 【達成目標】 地域安全対策を強化し、登下校中の子どもの犯罪、遊具等での事故の未然防止・抑止を図る。また、公園遊具の安全管理、放置自転車や不法投棄等に対して、迅速に対応し、安心・安全なまちづくりを推進することによって、犯罪の減少や地域の環境改善を目指す。	【取組1-3-1】 【地域安全対策プロジェクト】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域道路・公園等の巡視を実施 ・遊具等での事故防止啓発ビラの配布 ・関係機関等と連携した放置自転車・不法投棄対策の実施 【業績目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・巡視週5日実施 	地域道路・公園等の巡視を実施 巡視実施中(週5回)	①	B	子どもの安全・安心を確保するため、他の団体等と緊密に連携した活動を行う必要がある。	ウ
			【取組1-3-2】 【区の安全なまちづくり事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校区の「子ども見守り隊」活動への支援 ・「子ども見守り隊」の会議(仮称:相互意見交換会)の設置 ・子ども見守り隊ボランティアの表彰 ・都島警察署と連携・協力した「青パト事業」の実施 ・春・秋の交通安全週間における啓発活動 ・交通安全功労者表彰の実施 【業績目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども見守り隊会議回数 年4回 ・子ども見守り隊ボランティアの表彰 1回 	各小学校区の「子ども見守り隊」活動への支援 (7・8月)2校区に装備品の購入 「子ども見守り隊」の会議(仮称:相互意見交換会)の設置 隊長会議(11月~12月実施予定) 子ども見守り隊ボランティアの表彰 (平成21年10月17日 実施予定) 感謝状の表彰(団体名:たかくら安全パトロール隊)	①	①	<ul style="list-style-type: none"> ・青色防犯パトロールでは、地域からの要望・活動内容から課題を抽出し、効果的な街頭犯罪の抑止に努める必要がある。 ・子ども見守り隊の活動を効果的かつ効率的に行えるよう、隊長会議では積極的な情報交換が必要である。 	イ
			【業績目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども見守り隊会議回数 年4回 ・子ども見守り隊ボランティアの表彰 1回 	都島警察署と連携・協力した「青パト事業」の実施 (7月)青パト講習会の開催 参加人数 127人 (9月実施)青パト隊出陣式 参加人数 80人	①			

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①: 達成又は年度内に達成見込み ②: 達成できない可能性がある ③: 達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A: 当初の想定以上の成果が見込める B: 当初想定したとおりの成果が見込める C: 当初想定した成果が見込めない可能性がある D: 当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア: 21年度区取組み方針の改定 イ: 21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ: 22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像 ・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				使 命 ・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課 題	課題への対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
				春・秋の交通安全週間における啓発活動 [春] 4月6日～15日(延1,000人) [秋] 9月21日～30日(集約中)	①			
				交通安全功労者表彰の実施 (11月10日 実施予定)	①			
		戦略1-4 【京橋地域の安全なまちづくり事業】 京橋駅周辺を歩行者が快適に通行でき、活気に満ちたまちづくりを目指し、地域住民・関係機関・事業所が一体となった課題解決に向けた活動を実施する。「放置自転車」「たばこマナー」「はみだし看板」等の課題ごとに解決策を検討し啓発活動を定期的に実施する。 【達成目標】 平成21年からは総体的なまちづくりを考えるため、外部の講師によるまちづくり研究会を実施し、ハード・ソフト両面から課題解決を目指す。 ・ 商店街、飲食店の自主規制の遵守 ・ 自転車利用者の駐輪場利用の促進、歩行者妨害の減少、通行モラルの向上 ・ 環境美化に対する区民等の意識の高揚と定着	取組1-4 ・ 京橋周辺の安全・安心な環境づくりのため、啓発活動等を実施 ・ 自転車駐輪場の増設を要望 ・ 啓発用スピーカーの設置 【業績目標】 ・ 街頭啓発活動 週に1回実施(放置自転車対策) 2週に1回実施(安全パトロール・たばこマナー) 年に4回実施(商店会のはみだし看板対策) ・ 関係者会議及び研究会 2ヶ月に1回実施	京橋周辺の安全・安心な環境づくりのため、啓発活動等を実施 ・ 8月から放置自転車対策を毎週から月2回実施へ変更 ・ 環境浄化の啓発活動の内容充実(キャッチ対策やはみだし看板の啓発)	①	B	・ 取り組みは区民や関係機関の中に定着しているが、一層の活動の広がりを図るため、関係団体への働きかけや連携を一層強化する必要がある。 ・ 放置自転車問題の解消に向けて、駐輪施設の増設への取組みが必要である。	イ
				自転車駐輪場の増設を要望 (4月)京橋駅前広場に212台の駐輪場を増設 引き続き、駐輪場の増設を建設局と協議中	①			
				啓発用スピーカーの設置 (4月)京橋駅前広場に設置	①			

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
<ul style="list-style-type: none"> ・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現 				<ul style="list-style-type: none"> ・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進 				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的 取組の 進捗状 況	戦略の 進捗状 況	課 題	課題への 対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の進展に伴い、生活習慣病の予防など、世代を問わず健康への関心が高まりを見せている。 ・価値観や生活様式が多様化し、充実した生活を送るためのニーズが多岐にわたっている。 	<p>【誰もがいきいきと健康で暮らすことのできるまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進行に伴い、区民の医療・介護ニーズが増大することから、区民の健康保持・増進への支援が必要である。 ・区民の健康づくりへの主体的な取組みを促進し、疾病を予防するため、食生活の改善や適度な運動・休養など健康的な生活習慣を身につける必要がある。 ・住みなれた地域で心と心がふれあい、いきいきと暮らすことができるよう、地域に根ざした取組みが必要である。 	<p>【戦略2-1】</p> <p>【みやっこみんな健康づくり事業】</p> <p>区民の健康づくりを総合的・効果的に推進するため、生活習慣病予防に焦点をあてた健康づくり事業を展開する。区の特性を活かしたウォーキングの実施や区民と協働で製作した「みやっこ体操」の普及により、日常生活の中に健康意識を根付かせ、健康的な生活習慣の形成支援を行う。</p> <p>【達成目標】</p> <p>ウォーキング大会・健康づくりのつどいに参加することによる健康意識の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 ウォーキングコンテスト応募者数 300人 ・平成23年度 アンケート結果で健康意識が高まったという回答 80% 	<p>【取組2-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりウォーキングの開催 ・健康づくりのつどいの開催 ・地域巡回健康展の開催 ・「みやっこ体操」の普及 <p>【業績目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングコンテスト応募者数 200人 ・ウォーキング参加者数 500人 ・健康づくりのつどい参加者 300人 ・アンケート結果で健康意識が高まったという回答 50% ・「みやっこ体操」の実施施設・地域・団体 40ヶ所 	<p>健康づくりウォーキングの開催 (6・7・8月)関係団体(体育厚生協会等)と協議 (10月)関係団体との全体会議予定 (11月3日 実施予定)</p> <p>健康づくりのつどいの開催 (5月、7月、8月、9月) 健康づくりのつどい実行委員会の開催 (10月24日、25日 実施予定)</p> <p>地域巡回健康展の開催 (11月～ 実施予定)</p> <p>「みやっこ体操」の普及 (4月～) 老人クラブ、女性団体協議会 地域健康講座 各地域開催のイベント時に実施</p>	①	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングをはじめとした健康づくりへの機運を高めるため、より多くの団体の参加を呼びかける必要がある。 ・巡回健康展については、単独開催より地域の各種イベントに参加することにより、開催機会を増大させる必要がある。 ・「みやっこ体操」については、身近に日常に取り込める体操であることを町会や各種団体に働きかけ、普及を図っていく必要がある。 	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的 取組の 進捗状 況	戦略の 進捗状 況	課 題	課題への 対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		戦略2-2 【地域福祉アクションプラン推進支援事業】 「大阪市地域福祉計画」(平成21年度から23年度までの3カ年計画の策定素案が出され、住民主体で地域の生活課題の解決を図る「地域福祉力」の強化が求められている)に基づき、地域と協働で策定された地域福祉アクションプランの推進に対して必要な支援を行う。 また、だれもが参加できる「福祉フェスタ」の開催や、地域課題の解決に向けた「地域懇談会」を開催することにより、地域が抱えている問題を把握し、今後の地域福祉事業に役立てる。 【達成目標】 区と区社協が連携し、各地域の組織の強化・活性化を促進し、地域のネットワークづくりの積極的な推進を目指す。	取組2-2 ・ 「福祉フェスタ」や「地域懇談会」の開催 【業績目標】 ・ 福祉フェスタの参加者 300人	「福祉フェスタ」や「地域懇談会」の開催 (7月)第1回管理推進委員会の開催 参加者 17人 (9月)第2回管理推進委員会 参加者 14人 (8月)第1回福祉ふれあいフェスタ実行委員会 参加者 32人	①	B	【福祉ふれあいフェスタ】 ・ 「福祉ふれあいフェスタ」をより効果的に地域と施設、施設相互が交流し理解を深めることができるよう創意工夫することが必要である。 【地域懇談会】 ・ 「地域懇談会」は、区民の市政参加を促進し、地域課題をともに考える場として充実を図る必要がある。	イ
		戦略2-3 【区における人権啓発推進・人権相談事業】 「大阪市人権教育・啓発推進計画」「都島区人権教育・啓発推進計画」に基づき市民一人ひとりの人権意識の普及・高揚を図り、差別や偏見のない人権尊重の明るいまちづくりを推進するため、地域に密着した人権啓発活動を行う。 【達成目標】 区内各種団体や地域のボランティア等と連携し、人権学習	取組2-3 ・ 人権啓発事業の推進 ・ 人権啓発推進員等の育成・活動助成 ・ 人権啓発資料等の作成及び人権相談の実施 【業績目標】 ・ 人権問題研修 年2回実施	人権啓発事業の推進 (5月)人権学習会 子どもとネット社会「ケータイ時代」の大人の責任 講師：丸谷亮子さん(ホリスティック教育実践研究所 研究員) (7月)区内各種関係機関・団体等との人権啓発事業の共同開催 (7月)人権啓発推進員による校下人権学習会の開催 (9月)区民まつり啓発事業 啓発資料1,000セット配布・人権クイズコーナー・人権パネル展示他	①	B	・ 今年度、新たに委嘱された人権啓発推進員が大半であるため、人権啓発推進員自身が各校下、各団体で実施する人権学習会の開催が遅れている。 ・ 人権啓発推進員に対して、開催手法等の助言や相談を行う必要がある。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的 取組の 進捗状 況	戦略の 進捗状 況	課 題	課題への 対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		会や人権啓発事業を実施することにより、人権の意義や人権尊重の重要性について理解を深めることをめざす。		人権啓発推進員等の育成・活動助成 (7月)人権研修:「高齢者をめぐる問題」講師:石田易司さん(大阪市立いきいきエイジングセンター館長・桃山学院大学教授)	①			
				人権啓発資料等の作成及び人権相談の実施 (9月)人権パネル「大阪市がもし100人の村だったら」作成 (通年)人権相談の実施	①			
		戦略2-4 【生涯学習推進事業】 「生涯学習大阪計画」「区生涯学習推進計画」に基づき、人間尊重と共生、「市民力」をはぐくむ生涯学習の推進、まなびを基本とした「コミュニティ」づくり、地域の特性を生かした学びのネットワークという基本視点に立った、区域における生涯学習事業を総合的にすすめていく。 【達成目標】 区民との協働や区内教育機関・施設との連携により、まなびを通じた地域の交流を促進し、「コミュニティ」の輪を広げることめざす。	取組2-4 ・生涯学習推進事業の実施 ・生涯学習ルームの事業 ・はぐくみネットの事業 【業績目標】 ・区人材バンクの登録者 29人(19年度の20%増)	生涯学習推進事業の実施 (毎月)みやこじまく生涯学習だよりの発行 発行部数各240部 (8月)地域協働学習プログラム開発事業区企画スタッフの公募 8名 (9月～)同上企画会議の開催 1回(全5回) (8月)区人材バンク活用事業講師募集	①	B	・区内で実施している事業は、行政と区民が協働して事業を行うという事業形態も整い、安定した事業実施が行えている。区に移管されて以降も、特に混乱もなく進んでいる。 ・生涯学習事業の運営を担うボランティア人材の世代交代時期を迎え、ボランティア自身が培ってきたノウハウの継承が課題である。 ・ボランティア人材にコーディネーター機能等のスキルを高めて、区人材バンクを活性化することが今後の課題である。	ウ
				生涯学習ルームの事業 (通年)区内9小学校にて、校区内住民対象の講座事業を実施 9月末現在:主催6 地域連携支援12 自主運営33 参加者数のべ4,132人	①			
				はぐくみネットの事業 (通年)区内9小学校にて、はぐくみネット事業の実施 ① 情報誌の発行 ② 見守り活動 ③ 教育コミュニティ支援事業 (9月)はぐくみネットコーディネーター等交流会の開催 22名	①			

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①: 達成又は年度内に達成見込み ②: 達成できない可能性がある ③: 達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A: 当初の想定以上の成果が見込める B: 当初想定したとおりの成果が見込める C: 当初想定した成果が見込めない可能性がある D: 当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア: 21年度区取組み方針の改定 イ: 21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ: 22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課 題	課題への対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		戦略2-5 【コミュニティ育成事業】 地域の交流を活発にし、地域住民相互の連帯感を高めるとともに、コミュニティづくりを推進するため、都島区コミュニティ協会へ業務委託し、コミュニティ育成事業を企画・実施する。 【達成目標】 地域のコミュニティの輪を広げるとともに、コミュニティづくりを担う人材の育成・各種市民団体間の交流の場づくりを目指す。	取組2-5 ・ 区民まつりの開催 ・ 区民文化のつどいの開催 ・ こどもカーニバルの開催 ・ 各種講習会等の開催 ・ コミュニティスクールの開催 ・ 区民コンサートの開催 ・ まごころコンサートの開催 ・ 区民ギャラリーの運営 【業績目標】 ・ 区民まつり参加者数 50,000人 ・ 区民文化のつどい参加者数 2,000人 ・ こどもカーニバル参加者 2,000人 ・ 各種講習会参加者 6,300人 ・ コミュニティスクール参加者 40人 ・ 区民コンサート参加者 500人 ・ まごころコンサート参加者 500人 ・ 区民ギャラリー参加グループ 17グループ	区民まつりの開 (9月)実施 参加者 49,000人 区民文化のつどいの開催 (11月 14日、15日 実施予定) こどもカーニバルの開催 (6月)実施 参加者 2,300人 各種講習会等の開催 (4月～) 随時実施 コミュニティスクールの開催 (平成22年3月実施予定) 区民コンサートの開催 (平成22年1月実施予定) まごころコンサートの開催 (7月、8月)開催 参加者 300人 (今年度中にあと2回実施予定) 区民ギャラリーの運営 (4月～) 随時実施	①	B	・ 昭和50年から継続して実施してきた事業(S50 区民まつり、S51 コミュニティスクール)もあり、地域コミュニティの醸成への効果を検証し、創意工夫を盛り込んだ新たな企画の実施など事業の充実が必要である。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課 題	課題への対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		戦略2-6 【区民レクリエーション事業】 区民のスポーツ・レクリエーションに対する多様なニーズに対応し、区民にスポーツ・レクリエーションに触れる機会を提供する。 【達成目標】 区民の継続的なスポーツ活動を激励し、生涯スポーツの振興を目指す。	取組2-6 ・ スポーツ大会 ・ 健康づくりウォーキング ・ ラジオ体操 ・ 区民柔道大会 【業績目標】 ・ 区民スポーツ大会参加者数 1,700人 ・ 早朝ラジオ体操 延 6,000人	スポーツ大会 (4~7月)選手・応援者等2,370名参加競技種目 10種目()内は区分卓球(2)、ゲートボール(1)、ソフトボール(2)、こどもソフトボール(1)、こどもキックベースボール(1)、ソフトバレーボール(4)、こどもドッジボール(3)、中学生ソフトボール(1)、中学生キックベースボール(1)、バレーボール(1) 健康づくりウォーキング (11月3日開催予定) ラジオ体操 (7~8月)各地域の公園等で実施参加者約5,000名 区民柔道大会 (12月13日 開催予定)	①	B	・ 健康への関心が高まるなか、メタボリック症候群の予防・改善に効果的な各種スポーツやウォーキング等の事業実施を行っていく必要がある。 ・ 事業実施後、参加者数や年齢層等の推移を見ながら、参加者ニーズを反映した事業を企画する必要がある。	ウ
		戦略2-7 【成人の日のつどい事業】 「成人の日のつどい」を通して、新成人も含めた青年の自主的な参加を促し、新成人には大人になったことへの自覚と、自ら生き抜こうとする青年を祝い・励ますことを目指す。 【達成目標】 青少年育成に関係する各種団体の参加・協力を得ることで、青少年のコミュニティづくりを目指す。	取組2-7 ・ 成人の日のつどい開催 【業績目標】 ・ 成人の日のつどい参加者数 新成人の70%の出席を目指す。	成人の日のつどい開催 (平成22年1月11日 開催予定)	①	B	・ 成人の日のつどいに参加する新成人が減少する中、成人の日のあり方を再検討するなど参加者の増加につながる新たな企画を行う必要がある。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
<ul style="list-style-type: none"> ・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現 				<ul style="list-style-type: none"> ・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進 				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課 題	課題への対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民が主体となって作成した「未来わがまちビジョン」を推進するためには、区民と行政が協働で取組む必要がある。 ・ 区を越えてのボランティアの交流の場がない。 ・ 当区は与謝蕪村、貴志康一を輩出したほか、区内には多くの史跡が点在するなど歴史・文化に恵まれた土地柄である。 ・ 花と緑のまちづくりを推進していくために、区民が主体となった緑化活動の支援が求められている。 ・ 「地域のこどもは地域で守ろう」と区内の各種団体からなる青少年育成推進会議や青少年指導員が中心となつて、青少年の非行防止と健全育成に取り組んでいる。 	<p>【区民と協働ですすめるまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民が主体的に取り組む地域活動を支援し育成するとともに、団体間情報交換や相互交流など連携を深め、発展させる必要がある。 ・ 区の歴史的・文化的財産を活用して、区民のわがまちへの愛着を育みまちづくりを推進する必要がある。 ・ 青少年の健全育成は、地域社会全体で責任を持つべき性質のものであり、家庭・地域・学校・行政・企業等がそれぞれの立場で推進していく必要がある。 	<p>【戦略3-1】</p> <p>【未来わがまちビジョン推進事業の実現】</p> <p>「未来わがまちビジョン」実現のため、環境問題や美化活動を通じて、区民のまちづくり意識の向上と活動への参画を促し、幅広い区民参加による世代間交流や地域コミュニティの育成を目指す。</p> <p>【達成目標】</p> <p>平成23年度のボランティア参加延べ人数 1,000人</p>	<p>【取組3-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「未来わがまちビジョン推進会議」及び「大川かたづけ隊」の支援 ・ 環境問題をテーマにした区民主体のイベント「桜まつり」の開催 ・ キャンドルづくりのワークショップ及びキャンドルナイトの開催 ・ 農業体験プログラムの実施 ・ 区の生んだ偉人・与謝蕪村を顕彰する区民主体のイベント「蕪村まつり」の開催 <p>【業績目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア参加延べ人数 600人 ・ イベント等参加者 1,800人 	<p>「未来わがまちビジョン推進会議」及び「大川かたづけ隊」の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推進会議6回 参加者数延べ50人 (4月～9月)大川かたづけ隊6回 ボランティア参加者数 延べ136人 <p>環境問題をテーマにした区民主体のイベント「桜まつり」の開催 (平成22年3月 実施予定)</p> <p>キャンドルづくりのワークショップ及びキャンドルナイトの開催 (4～6月)ワークショップ4回実施 参加者数延べ169人 (7月)キャンドルナイト in 都島を実施 イベント参加者数1,000人</p> <p>農業体験プログラムの実施 (6月)道の駅「かなん」で実施 (南河内郡河南町)参加者数30名 (11月21日 実施予定)</p> <p>区の生んだ偉人・与謝蕪村を顕彰する区民主体のイベント「蕪村まつり」の開催 (平成22年3月実施予定)</p>	①	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業は区民の中に定着してきているが、更なる活動の広がりをめざすため、他団体との情報交換や相互交流を積極的に行う必要がある。 	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課 題	課題への対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		戦略3-2 【貴志康一顕彰事業】 地域と協働で、区ゆかりの音楽家貴志康一の音楽会を開催することにより、わがまちへの愛着の心を育むとともに、区の歴史への理解を深める。 【達成目標】 区の歴史・文化への理解と、音楽を通じて地域コミュニティの育成を目指す	取組3-2 ・ 区民センターでの貴志康一記念区民音楽会の実施 【業績目標】 ・ 音楽会参加者 200人	区民センターでの貴志康一記念区民音楽会の実施 (平成22年3月実施予定)	①	B	・ 区民と協働して貴志康一の音楽や業績を紹介することにより、より多くの区民に区の歴史・文化を理解してもらい、わがまちへの愛着を育めるような工夫が必要である。	イ
		戦略3-3 【毛馬キュウリ普及運動推進事業】 区原産のなにわの伝統野菜「毛馬キュウリ」の普及啓発を通じ、区の歴史や文化への理解を深めるとともに、「毛馬キュウリ復活運動推進委員会」を中心とした地域コミュニティの育成を目指す。 【達成目標】 区民を中心とした伝統野菜の普及・啓発活動の定着を目指す。	取組3-3 ・ 毛馬キュウリの苗の配布・育成 ・ 毛馬キュウリ育成コンクールの開催 ・ 毛馬キュウリレシピコンクールの募集 ・ 伝統野菜料理講習会の開催 【業績目標】 ・ 毛馬キュウリ育成コンクール応募者 50人 ・ 料理講習会参加者 30人	毛馬キュウリの苗の配布・育成 (5月)苗配布 1,000株 毛馬キュウリ育成コンクールの開催 (7月～8月)募集 応募者 17人 (9月)区民まつりで表彰 毛馬キュウリレシピコンクールの募集 (7月)実施 レシピ応募数 14点 (9月)区民まつりで表彰 伝統野菜料理講習会の開催 (8月)実施 参加者数 23人	① ① ①	B	・ 育成コンクールや料理講習会により多くの参加者を得るため、認知度を高める普及啓発活動を行う必要がある。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像 ・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				使 命 ・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的 取組の 進捗状 況	戦略の 進捗状 況	課 題	課題への 対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		戦略3-4 【種から育てる地域の花づくり支援事業】 区民ボランティアなどが自らの手で種から花苗を育て、区内各所に配布して四季折々の花々で町を彩ることにより、地域の緑化を図るとともに、高齢者をはじめ子どもや障害者など、幅広い区民参加を得ることで、区民同士のふれあいや地域コミュニティの醸成につなげる。 【達成目標】 平成23年度末までに花飾り設置による迷惑駐輪、ごみ不法投棄などの対策箇所数 20箇所	取組3-4 ・区民ボランティアによる種子からの花苗等の育成 【業績目標】 ・区民ボランティア応募者 100人	区民ボランティアによる種子からの花苗等の育成 (4、7、9月)種まき実施 配布数 6,196株 花飾り場所 31箇所 ボランティア登録者数 70人	①	B	ボランティア登録者数を増大させるためには、地域で緑化活動をしている区民や団体にも参加を呼びかける広報活動が必要である。	イ
		戦略3-5 【東部4区合同「淀川100年未来に向けて」シンポジウム事業】 「新淀川開削100周年」「水都	取組3-5 ・シンポジウムの開催 ・河川まちづくりを実践している区民・公募区民による船上視察の企画・運営	シンポジウムの開催 (10月4日「淀川100年未来に向けて」シンポジウムを開催予定)	①	B	シンポジウム終了後も、4区の活動団体が相互に協力し合い、区間交流を深める「場」づくりが必要である。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課 題	課題への対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		大阪「2009」の年を契機とし、東部4区の区民が一同に会して、シンポジウムや船上視察を企画・運営し、河川への理解、関心、愛着を再認識させ、河川災害に対する意識啓発や河川へのゴミのポイ捨て減少につなげる。 【達成目標】 ・ 4区での河川関連の取組み回数 10回、参加者数 3,000人 ・ シンポジウムをきっかけとした連携ネットワークの設立及び活動回数 1回	【業績目標】 ・ シンポジウム参加者 130人	河川まちづくりを実践している区民・公募区民による船上視察の企画・運営（7・9月）4区の市民活動団体合同会議を開催	①			
		戦略3-6 【青少年育成推進事業】 青少年の健全育成・非行防止と子どもの保護・安全強化、犯罪の未然防止を図るとともに、子どもが安心して暮らせる環境を確保するため、子ども110番の家事業を拡充する。 【青少年指導員活動推進事業】 青少年指導員と子どもたちが直接関わる事業を推進し、街頭での指導によって非行防止活動を実施する。また、研修会等を通して、地域における青少年の健全育成と非行防止に取り組む。 【達成目標】 地域における青少年の健全	取組3-6 ・ 青少年育成区民大会の開催 ・ 子どもたちの都島クリーン作戦の実施 ・ 子ども110番の家事業の拡充 ・ 統一指導ルームの実施等 ・ 研修会 ・ 広報紙「リーダー」発行	青少年育成区民大会の開催（平成22年2月13日実施予定） 子どもたちの都島クリーン作戦の実施（11月23日実施予定） 子ども110番の家事業の拡充（9月末現在）34枚の新規設置 統一指導ルームの実施等（毎月25日、8月は5日）各校下において夜間巡視を実施。9月現在延べ673名参加 研修会（平成22年2月28日実施予定） 広報紙「リーダー」発行（平成22年3月発行予定）6,600部	① ① ① ① ①	B	・ 青少年の健全育成を推進するためには、区内の青少年を支える各種団体の緊密な連携が必要である。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課 題	課題への対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		育成と非行防止活動を通じて、子どもが安心して暮らせる環境づくりを目指す。	【業績目標】 ・ 「子ども110番の家」平成21年度新規設置目標数 50枚 ・ 拡大指導ルーム参加者 80名【19年度の20%増】					
【現状認識】 ・ 法律や制度改正が相次ぐなど、区民が必要とする情報をタイムリーかつわかりやすく伝えることが求められている。 ・ 区政への関心の高まりとともに、区民のニーズも多様化している。 ・ 厳しい財政状況のもと、更なる経費の削減が急務となっており、効率的で効果的な組織運営・事業実施が求められている。 ・ 厳しい財政状況のもと、更なる経費の削減が急務となっており、効率的で効果的な組織運営・事業実施が求められている。	【信頼され、親しまれる区役所づくり】 ・ 区政に関する多様な情報が容易に得られるよう、情報を区広報紙・ホームページの充実を図り、積極的に周知・PRする必要がある。 ・ 区民が自ら、身近な課題に関心を持ち解決できるよう、行政の多様な情報を提供・紹介していく必要がある。 ・ 公平・公正で信頼される区政を推進するとともに、経営感覚やコスト意識を職員が自ら意識した事務執行する必要がある。	【戦略4-1-1】 【広聴広報機能の充実】 区が取り組む政策や行政サービスを区民に正確に伝え、区政への理解と協力を求める。広聴を通じて区民ニーズを的確に把握し、区民への説明責任を果たす。区民が区政に関し気軽に意見・提案ができ、かつ区政に反映させる制度の充実を図る。 【達成目標】 広聴広報機能を充実させるため、区民アンケートを実施し、市民満足度の向上を目指す。	【取組4-1-1】 ・ 広報モニターによる区広報の充実 ・ 区ホームページの内容充実 ・ 出前講座の充実・拡充 ・ 区役所来庁者へのお客様アンケートの実施及びご意見箱の設置 【業績目標】 ・ 広報モニター会議 年2回実施 ・ アンケート年4回実施 ・ 出前講座 年24回実施	広報モニターによる区広報の充実 (5月)モニター会議開催 (5・8月)モニターアンケート実施 区ホームページの内容充実 (4月～)市民協働・動画・検診案内等ページの新規作成 出前講座の充実・拡充 メニューの見直しおよび広報(13回実施)	①	B	・ 区民の多様な意見を収集し、これまでのアンケートやご意見箱に加えて区民ニーズを的確に把握する手法の研究が必要である。 ・ 区民に役に立つ情報を迅速かつ的確に伝達するため、区ホームページの機能を一層活用して、見やすく分かりやすいホームページづくりを行う必要がある。	ウ
		【戦略4-1-2】 【信頼される区役所づくり】 個人情報保護の徹底と積極的な情報公開を行い、信頼される区役所運営を目指す。職員に対し接客研修を実施することで、窓口での接客技術の向上を図る。毎月掲げるCS推進強化項目に積極的に取り組むことにより、市民満足度の向上を図る。	【取組4-1-2】 ・ 情報の積極的な公開と個人情報の適切な管理 ・ 職員一人ひとりの接客技術の向上 ・ 省エネルギー行動、ペーパーレス化等の徹底 ・ 多目的トイレの設置	情報の積極的な公開と個人情報の適切な管理 (8月)文書主任・文書整理担当者会議を開催し、周知徹底を図った。	①	B	・ 情報公開やお客様に対する接遇、省エネルギー行動については、職員一人ひとりの意識を高め、改善運動を定着させるために、一層の継続した取組みが必要である。 ・ お客様の視点から庁舎や業務を点検して、誰もが利用しやすい区役所となるよう更に取り組んでいく必要がある。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（都 島 区）

中間振り返り 様式2

目標像				使 命				
・区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現				・区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組 (平成21年9月末現在)	具体的 取組の 進捗状 況	戦略の 進捗状 況	課 題	課題への 対応
区取組み方針の内容を記載（貼付け）してください。なお、6月の補正予算で新たに追加した事業等で区取組み方針に反映すべきものについては、区取組み方針を見直し（改定）したうえで、振り返りを行ってください。				これまでにどのような取組を行ってきたかを具体的にかつ簡潔に記入してください。	※1	※2	戦略の進捗状況にかかわらず、これまで具体的取組を進めてきた中で見えてきた課題について記述してください。	※3
		継続して庁内環境保全行動 に取組むことで省エネルギー・ 省資源を図り、コスト削減と 効率的な区役所運営を目指す。 【達成目標】 電気・都市ガスの使用量（平成 20～23年度） ・平成19年度使用量を基 準に3%削減 ・上水使用量・コピー用紙 購入量 ・平成23年度までに平成 19年度使用量を基準に 4%削減	【業績目標】 ・電気・都市ガス使用量 平成19年度を基準に3%削減 ・上水使用量 平成20年度を基準に1%削減 ・コピー用紙購入量 平成20年度を基準に1%削減	職員一人ひとりの接客技術の向上 （9月）全職員にチェックシートを配布 し、CS推進運動（電話対応力向 上）の振り返りを実施 省エネルギー行動、ペーパーレス化等 の徹底 （8月）「よめばみやこ」に啓発記事掲 載 （9月）各担当で環境管理研修を実施 （全職員対象） 多目的トイレの設置 （6月）都市整備局へ工事実施依頼	①			

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし
 ※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない
 ※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映